

## 社会福祉法人全国盲ろう者協会

2021年度通常枠  
盲ろう者の地域団体の創業支援事業

伊藤 翔生



## ①盲ろう者とは

- I 盲ろう者とは
- 2 当協会と友の会

## ②盲ろう者の地域団体の創業支援事業

- I 同行援護と掘り起こし

## ③実行団体とのかかわり方

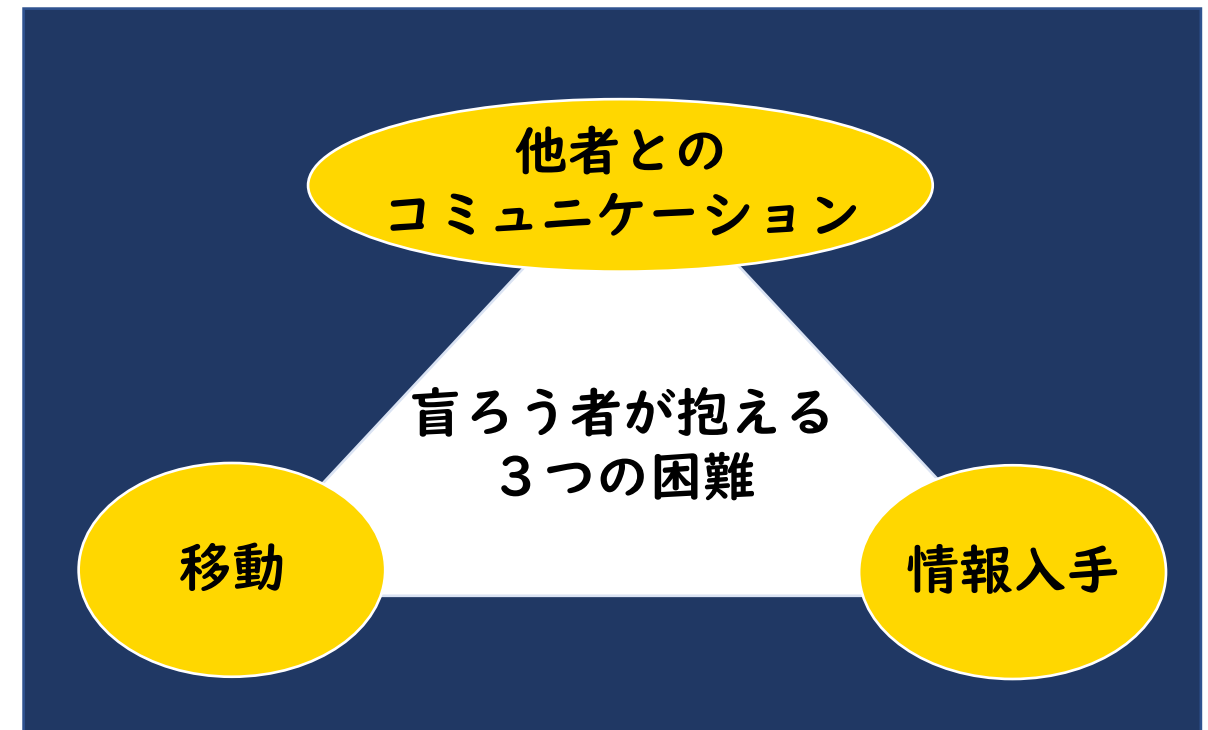
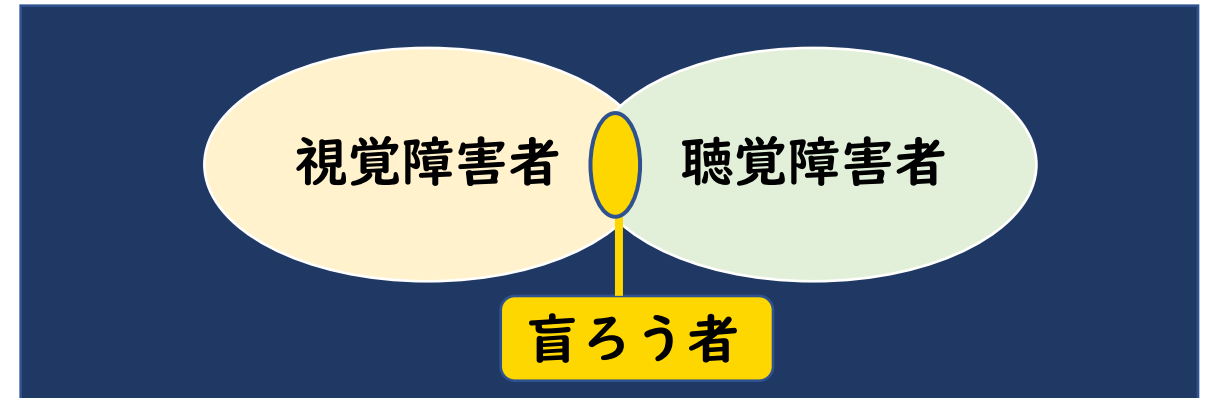
- I 支援体制
- 2 支援内容

## ④POとしての動き

# ①-1 盲ろう者とは

2

- ・ 目と耳の両方に障害を併せもつ人  
全国に約1万4000人という希少な障害  
(当協会が把握しているのは1000人ほど)
- ・ 見え方、聞こえ方は人それぞれ  
先天性・後天性、全盲ろう・弱視難聴など
- ・ 多様なコミュニケーション手段  
音声・触手話・指点字・手書き文字etc...



## 全国各地の盲ろう者地域団体



- ・ 地域の盲ろう当事者と支援者で構成
- ・ 団体規模は地域により異なるが、**財政基盤が脆弱**な団体が多い
- ・ 日中活動や交流会等を行うなど、地域の盲ろう者の憩いの場となっている

共同して  
盲ろう福祉の向上に取り組む

## 社会福祉法人 全国盲ろう者協会



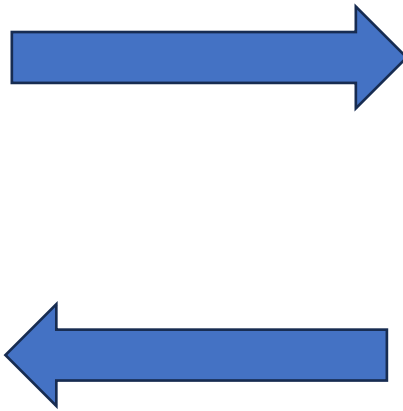
- ・ 1991年に設立した日本で唯一全国の盲ろう者を支援している団体
- ・ 身体障害者福祉法で定める等級の程度に関わらず「盲ろう者」を支援
- ・ 日本初の盲ろう者の総合リハビリテーションセンター開設を目指し、様々な事業に取り組んでいる

### 同行援護事業所の運営

- ・ 視覚障害者向けの移動支援
- ・ 盲ろう者の外出機会増
- ・ 従業者(ヘルパー)の派遣により報酬
- ・ 団体の基盤強化

### 掘り起こし活動

- ・ 社会とのつながり創造
- ・ 同行援護の利用者
- ・ 行政、関係機関との連携
- ・ 団体の活動活性化



## 公募結果 実行団体5団体

- ・ NPO法人札幌盲ろう者福祉協会
  - ・ NPO法人千葉盲ろう者友の会
  - ・ NPO法人静岡盲ろう者友の会
  - ・ NPO法人香川盲ろう者友の会
  - ・ NPO法人宮崎県盲ろう者友の会
- (うち3団体は採択時任意団体)

## 当協会の体制

- ・ PO2名（面談、訪問など）
- ・ 事務局長
- ・ 事業担当課長
- ・ 職員1名

## ①（人もカネもない団体の）組織基盤強化

- ・法人化手続きの支援  
社会的信用↑  
「舐められなくなった」「助成、業務委託の打診が増えた」
- ・体制の基盤づくり
- ・状況は様々
- ・ボランティアから組織へ

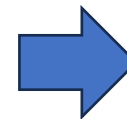
## ②日常業務の支援

- ・毎月の面談(現地・オンライン) → 3～4か月に1回程度訪問
- ・日頃の問い合わせ（書類の書き方、PCの扱い、圧縮etc....）
- ・事業の相談（評価？）

## ③アドボカシー活動、他機関連携

- ・役所との交渉、折衝、啓発
- ・他機関との連携
- ・実行団体間のつながり、情報共有

×先導  
○伴走



最終的な意思決定  
は実行団体が

氏名：伊藤翔生（いとう しょうき）

生年月日：1998年3月3日

趣味：バスケ、ギター、ゲーム、引きこもること

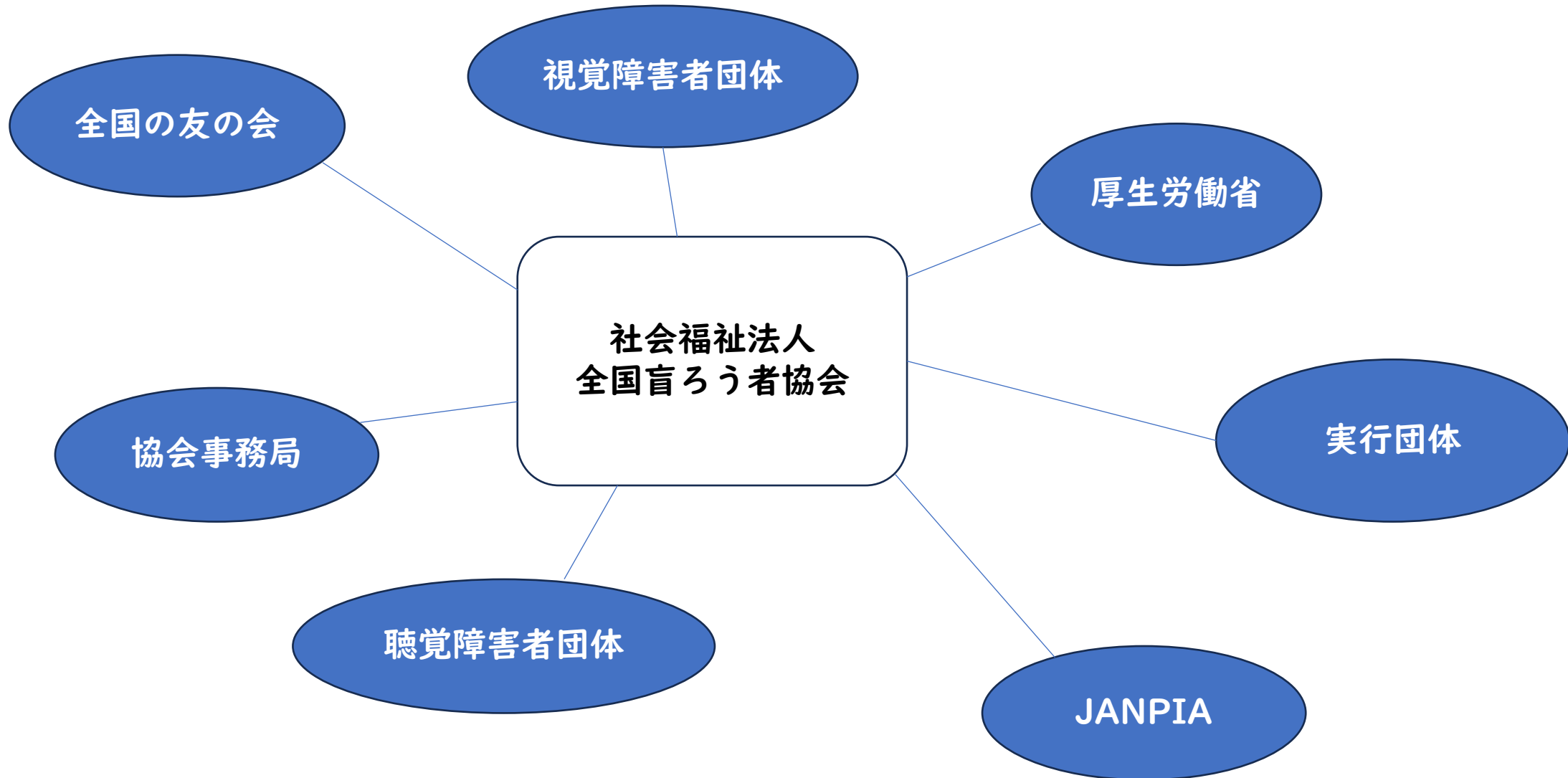
2020年度人間科学部社会福祉学科卒業

社会福祉法人全国盲ろう者協会 入社3年目（1年目よりPO）

**知識、経験の  
圧倒的な不足**

皆さんの方が詳しいでしょ.....





伊藤単体には強みはない

伴走支援というか伴走.....?

解決法のありか

誰が何の情報を持っているか  
人の繋がり、団体の繋がり

自由に動ける

借り物競争  
解決法のありか

個人ではなく組織として

協会内では伊藤がPO、友の会から見れば協会がPO  
橋渡し



## 1年振り返って

### 意識してよかったこと

- ・ 事業開始段階での共通認識  
実行団体内、資-実の共通理解
- ・ 評価の必要性  
事業のため→組織のため
- ・ 実行団体との密なコミュニケーション  
報告、進捗、愚痴など。団体の立ち位置

### やっておけばよかったこと

- ・ 情報の蓄積  
全実行団体の進捗比較シートなど
- ・ 実行団体間の交流、情報交換
- ・ 主担当者以外の組織体制の確認  
事業としては○  
組織としては？